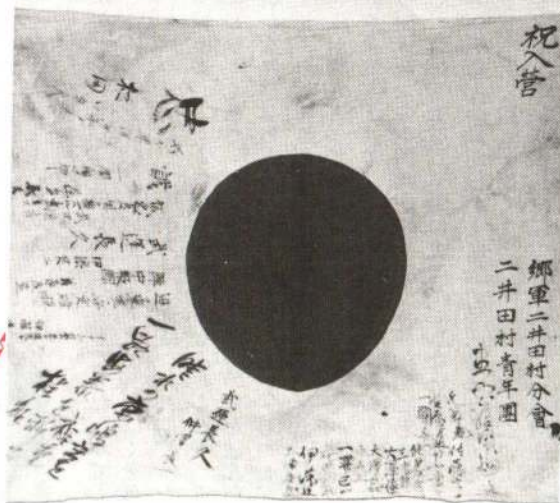


南中学区の 太平洋戦争

昨年、市立大館南中学校の3年生（現在は卒業している）33人が、「南中学区の太平洋戦争展」を開催しましたので、内容の一部を紹介します。

この展示会は、生徒が南中学区（二井田、真中地区）の戦争体験者や遺族から直接調査をし、これをまとめたものを昨年の文化祭で発表したものです。調査をした生徒たちは、戦争の悲惨さを肌身で感じながら平和の尊さをかみしめていました。



▲二井田村青年団長であった故仲沢一也さんへ、無事に帰ってくるようにと地域の方たちが寄せ書きした日の丸の旗。

南中学区戦没者地区別実数表 (1931~1945)

地区名	比内前田	本宮	杉沢	大子内	大披	出川	板沢	赤石
戦没者	7	5	4	6	5	5	16	12

小袴	櫃崎	二井田	上四羽出	下四羽出	高戸谷	下川原	三浦	計
6	18	49	6	6	3	2	2	152

南中学区の戦没者地区別数地図



このテーマを選んだ理由

今年、戦後四十一年目に当たります。

今では、戦後生まれの人々が各分野で活躍しています。また、長い平和が続いているので、私たちがそれがあたり前のことと思いがち、太平洋戦争などという、日本やアジア、そして世界を暗黒の時代にまきこんだ悲劇は、いつの間にか忘れさられようとしています。

私たちと同じ世代、そして二十代、三十代で死んでいった若き兵士たち、我が子・我が夫を待つ家族の苦しみ……、原爆で死んでいった数十万もの人々の苦しみを私

たちは決して忘れてはいけません。

それを私たちが自身がかみしめると共に、皆様にも知っていただきたく、この企画をたてました。内容は、できるだけ身近な調査で具体的に考えようと努力しました。

私たち、三年生は今、中学校生活最後の学校祭に、せいじっぱいの力を出して頑張っています。戦争体験者の話を聞いたり、戦没者の名簿作り、当時の使用品などを集めたりと、放課後集まって手分けし、調べてきました。

何分、わからない事ばかりで戸惑

うこともありましたが、せいじっぱい力を出した作品ばかりなので良く見ていただければと、思います。

戦争は「イヤ」です。

戦争は私たちがだまっています、いったんはじまると何がなんでも私たちの生活に入りこみ、全部を破壊においやつてしまいます。

人間はおろか、この見慣れた風景さえもなくなってしまうでしょう。

それを防ぐために、「戦争はあつてはならないもの」として、平和がずっと続くように、努力しなければならぬと思います。

一九八六年十月一日
「南中学区の太平洋戦争」委員